

カワニナ

淡水に生息する細長い巻貝で、殻の高さは3 cm程で、円錐（えんすい）形をしています。

ゲンジボタル（幼虫）の餌として、よく知られています。

主に小川や河川、用水路などに生息しています。水質の汚いところは好まず、水温が低く、水中に酸素が多くあるところを好みます。

主に、柔らかい落ち葉や石についた藻類、水底にたまったデトリタスなどを食べます。

繁殖期は春～秋で、メスは卵胎生（らんたいせい）で体の中で卵を孵（かえ）し、稚貝（ちがい）を産みます。

富士市での現状

市内の田んぼ周辺や湧水の流れる水路、小河川など広い範囲で確認されました。



カワニナを確認したメッシュ

